

2025年5月13日
東海旅客鉄道労働組合政策部発行



SUN

Seisaku Union News

JAPAN-RAILWAY-TOKAI-WORKERS-UNION

続・私たちの思いを国政に反映させるために

～「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」議員が奮闘～



国民民主党 新緑風会
浜野 喜史



環境大臣
内閣府特命担当大臣
(原子力防災)
浅尾慶一郎

参議院環境委員会にて発言する浜野よしふみ参院議員と答弁する浅尾環境大臣

浜野よしふみ参院議員 鹿と列車の衝撃について 国の積極支援を求める

JR連合「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」所属の浜野よしふみ参議院議員（全国比例・国民民主党）は4月17日、参議院環境委員会にてJR東海ユニオンとしても積年の政策課題である大型鳥獣に拠る輸送障害とりわけ、鹿と列車の衝撃について質疑に立った。

浜野参議院議員は冒頭、鹿等による各種獣害が深刻であることを踏まえ、浅尾慶一郎環境大臣に対し、「国は危機感をもって鹿等の捕獲事業強化を進めていくべき」と指摘。さらに、「鹿と列車との衝突事象」が多いJRの各路線名等にも言及の上、「鹿生息数の適正水準の維持は国や自治体の責務であることを踏まえ、衝突事象削減は事業者任せにせず、国と自治体が積極的に関与していくべき」と指摘した。



現在の課題解決に向けて!

JR東海ユニオンと小沢まさひと参議院議員の対談動画
<https://www.youtube.com/watch?v=UswiVj1eCog>

小沢まさひと参議院議員 私達が抱える政策課題について 意見交換を実施!

JR連合「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」所属の小沢まさひと参議院議員（全国比例・立憲民主党）は、JR東海ユニオンを来訪され、JR東海ユニオンが抱える政策課題について尾内中央執行委員長、小木曾名古屋地方本部執行委員長と共に対談を実施した。

詳しくは、YouTubeにて公開されていますので下記QRコードからぜひご覧ください。



これに対し、国土交通省の政府参考人の答弁は、「衝突事象の減少に向け、鉄道事業者が実施している対策を共有する場を設定している」旨の内容に留まった。その上で、**浜野参議院議員**が、環境省策定の鹿管理計画に係る自治体向けガイドラインにおいて鉄道被害の内容を拡充すべきではないかと主張したところ、**環境省の政府参考人**からは、「ご指摘を踏まえ、被害の最新情報を改訂ガイドライン（R7年度末）に盛り込み、都道府県の管理計画において管理目標等として設定されるよう周知していく」旨の答弁を引き出した。今回鉄道の鹿被害にも行政側が関与する方向性が見出されたことは大きな成果だ。私たちは、これが実効性ある政策となるよう引き続き動向を注視していく。